

第67回 秋季大運動会が 開催されました

コロナウイルスの感染防止に努めながら



9月25日(日)に「第67回 秋季大運動会」が、秋晴れの好天のもと開催されました。今年の運動会は新型コロナ感染症の蔓延に伴い、昨年に引き続き午前の半日開催となりました。保護者の皆様方には、感染蔓延防止の関係で、各ご家庭1名の人数制限をさせていただいたり、当初予定されていた23日と翌24日は雨のために2日間の順延になるなど、大変なご理解とご協力をいただき、心より感謝いたします。おかげさまで、2年ぶりに、保護者の皆様方をお迎えして、運動会を開催することが出来ました。誠にありがとうございました。

運動会テーマの実現に向けて

今年の運動会テーマは「赤青黄！仲間を信じつき進め！」でした。子どもたちはこのテーマに向かって、練習期間から6年生を中心として、上級生は下級生の面倒を見ながら、下級



生は友だちとお互いに支え合いながら、仲間を信じ、協力した取り組みをおこなってくれました。そのような取り組み期間でしたので、今年の運動会テーマは、練習の時からすでに半分以上は達成されているように感じられました。本番である運動会当日は、全校児童が一丸となり、練習の時よりも更にまとまりながら、運動会のテーマに向かってよく頑張っていたように感じました。運動会の演技の中で、楽しそうに、そして一生懸命に仲間たちと取り組む姿や、運動会後の解団式の中で聞かれた「みんなと協力してできて良かった」などの感想が、子ども達自身もテーマに向かって運動会を作り上げることができた達成感を感じているように思いました。



赤青黄がそれぞれ素敵な賞をいただきました



今年の運動会は得点による順位ではなく、各班には、頑張った点を評価する賞が贈られました。

赤には「心が一つだったで賞」

青には「みんなで力を合わせ頑張ったで賞」

黄には「協力して応援できたで賞」

が贈られました。運動会の中の、どの種目においても、子どもたちは全力で一生懸命に取り組むとともに、競技に勝った勝者は勝ちを友達とともに素直に喜び、敗者はそれを笑顔で讃えることができていました。子どもたちのその姿勢が表された素敵な賞。そんな賞を考え、それに向かって頑張った子供たちに拍手を送りたいと思います。



ありがとう
ございます

昭和建设株式会社さんが デコボコだった校庭を 平らにする工事をしてくださいました



熊野にある「昭和建设株式会社（浅野晃一社長）」のご厚意で、9月3日（土）に、塩山南小学校の校庭を平らにする工事を無償でしていただきました。

本校のグラウンドは、一見すると平らに見えたのですが、長年の雨などの浸食によって水の通り道などができており、かなりデコボコがありました。なんとかしたいと思っていたのですが、直すには大きな予算が必要になり、どうすることもできずにいました。

そんな折、昭建設の浅野社長さんより、「南小のグラウンドを平らにする工事を、よろしければさせてもらいたい」というお話をいただきました。本校とすれば『させてもらいたい』どころか『是非ともよろしくお願いたします』と二つ返事をお願いをさせていただきました。

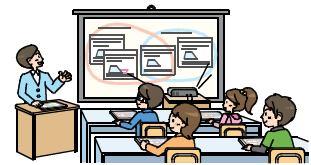
工事をしていただけるだけでも、大変ありがたいことだったのですが、昭建設さんの方では、運動会が近いということもご存じで、南小の子供たちが運動会を、綺麗で平らな校庭でできるように、運動会の前に工事してくださる配慮までしていただきました。おかげさまで、運動会当日は、子供たちが、気持ちのよい平らな校庭で、思いっきり運動会を楽しむことができました。

大変なご厚意とご配慮をいただきました昭建設株式会社さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

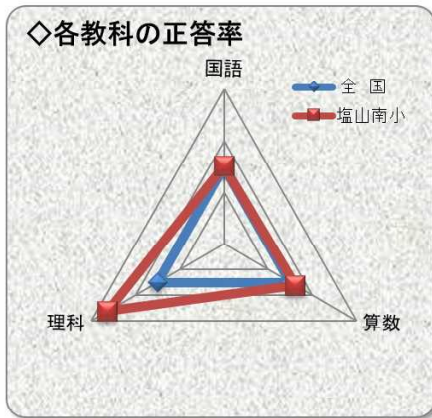


全国学力・学習状況調査の結果が発表されました

塩山南小は全国と同等な状況



◇各教科の正答率

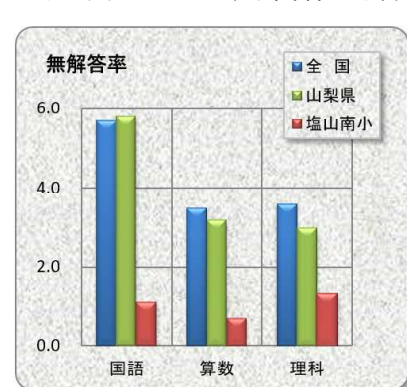


本年度も、4月19日(火)に全国学力・学習状況調査(6年生対象)が実施されました。塩山南小学校ではこの調査の結果を、これからの子どもたちに対する指導に役立てるために分析を進め、授業改善などに取り組んでいるところです。今回の学校だよりでは、本校の学力調査の概要をお知らせいたします。

左のグラフは、全国学力・学習状況調査の「国語」「算数」「理科」3教科の結果のグラフになります。今回の調査結果において、全国の平均正答率を100(黒い線)としたときに、塩山南小(赤い線)がどの程度の割合になるのかを表したグラフです。塩山南小学校のそれぞれの教科や項目の平均正答率と全国の平均正答率を比較し、塩山南小学校が現在どのような状況にあるかを見取ることができます。全国の結果を表した線より塩山南小の線が

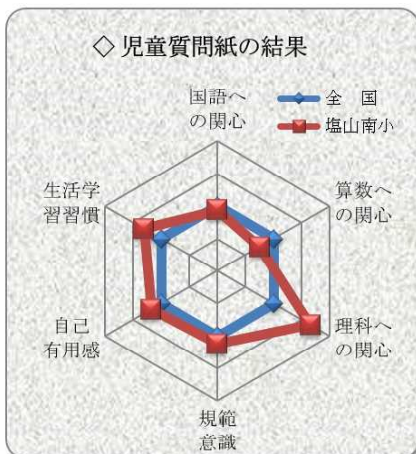
大きければ大きいほど結果が良いことを表し、全国の結果の線より内側に入ると全国平均を下回っていることを表しています。これによりますと、全国学力調査の結果につきましては、国語と算数は全国平均をやや上回り、理科は大きく上回っていることがわかります。

右のグラフは各教科の観点別の結果を表すグラフになります。国語においては、各内容別にはほぼ全国平均と同等の結果ですが、「話す」ことについては全国平均をやや下回り、「言語文化」については大きく上回っています。同様に、算数については「図形」はやや平均を下回り、「数と計算」がやや平均を上回っています。理科は、全ての領域において、全国平均を大きく上回っていることが読み取れます。また、左のグラフは、調査の無回答率を表すグラフです。これによりますと、本校の児童は、全国や県よりも、各教科において無回答率がかなり低いことがわかります。このグラフから、本校の児童が、調査の問題を最後まで諦めずに、粘り強く取り組



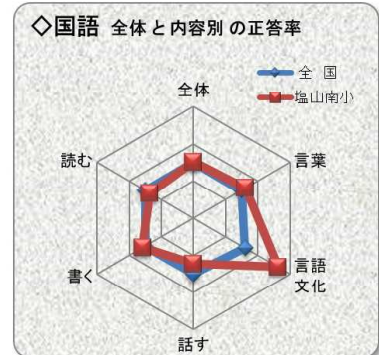
んだことが読み取れます。

最後に下のグラフは、児童質問紙の結果をグラフ化したものです。これによりますと、本校の児童は「生活習慣」や「自己有用感」「規範意識」などが全国の児童より高く、「理科への関心」はかなり高いことがわかります。また反対に、「算数への関心」はやや全国平均を下回っていることが読み取れます。

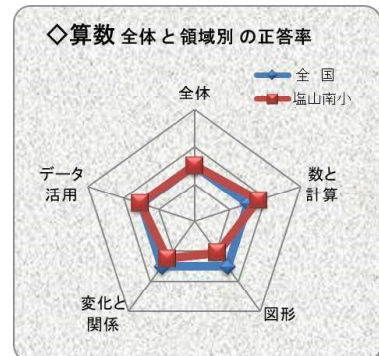


学校では、これらのデータを子どもたちの指導に生かすべく取り組みを進めています。学校での授業改善や「南小ノート」などの取り組みは、これら学習調査の結果などの分析をもとに行っているものですが、ご家庭の協力も効果を上げるために必要となります。今後ともご支援ご協力を、宜しく願いいたします。

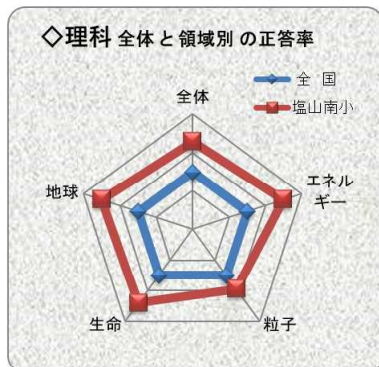
◇国語 全体と内容別の正答率



◇算数 全体と領域別の正答率



◇理科 全体と領域別の正答率



南小の先生方の 好きな言葉 大切な言葉



今月号から何回かに分けて、南小の先生方の「好きな言葉」「大切な言葉」「パワーワード」を紹介させていただきます。言葉との出会いは、時としてその人の人生を変えることもあると言います。南小の先生方の「大切にしている言葉」。その言葉を紹介させていただくことで、保護者の皆さん方や子供たちに、新たな素敵な何かが起こってくれることを期待しながら、紹介させていただきます。

第1回目の今日は、1・2年生と特別支援学級担任の先生方の「好きな言葉 大切な言葉」を紹介させていただきます。

◇ 1年1組 担任 小林 千恵美 先生

「神様は、その人が乗り越えられる壁しか設定しない」

昔、失敗が続き、諦めそうになることがあったとき、この言葉を思い浮かべました。「今はつらくても絶対に乗り越えられる！」そう思い頑張ることができました。この言葉で教員になり、山梨に戻ることができました。今も、悩んだり、落ち込んだりしたときにふと思い出す言葉です。

◇ 2年1組 担任 徳良 賢治 先生

「為せば成る」

教員採用試験の学習中、ある本に、この一節が載った武田信玄作と言われている和歌を見つけたことがきっかけで、大切な言葉になりました。卒業生への送る言葉によく使っています。

◇ 2年3組 担任 深沢 千暁 先生

「超越」

陸上競技に取り組んでいた学生時代、父からもらった言葉です。ハードルを専門にやっていたので、「一台一台丁寧に越えていきなさい」という意味と、「人生いろいろ大変なことはあるけれど、一つ一つ越えていきなさい」「周りと比較せず、自分を超えなさい」という意味で、父は私にくれたそうです。今でもこの言葉を胸に、「私なら越えられる！」と、自分を鼓舞しながら生きています。

◇ わかくさ学級 担任 塚田 志小美 先生

「失敗は成功のもと」

自分が思うところや願いに、なかなか届かないことが多いのですが、失敗してもそこから学び、次につなげていきたいと思えます。

◇ 特別支援学級 担当 近藤 祐未 先生

「どんな時も笑顔で。」

大学4年の全日本インカレの時に先輩が手紙でくれた言葉です。主将としてプレッシャーを感じていましたが、「会場の中のだれよりも楽しむ」という目標を立てて臨みました。笑顔で楽しんだ結果、入賞することができました。

◇ 1年2組 担任 鈴木 百合子 先生

「百里を行く者は九十を半ばとす」

性格ですが、途中で気が緩んで最後にミスをする人が多いため、気持ちを持続するために思い浮かべる言葉です。

◇ 1年3組 担任 秋山 実沙 先生

「継続は力なり」

この言葉は書道の師匠が私に教えて下さった言葉です。私は小学校1年生から始めた書道も、大変な時があったが、目標に向けて頑張り、大学では目標としていた師範の資格を取得できました。この経験から、「継続は力なり」をパワーワードとして私はどのようなことでもまずは行動に起こし、続けてみることを心がけています。

◇ 2年2組 担任 梶原 美奈子 先生

「幸せはいつも自分の心が決める」

相田みつをさんの言葉です。もともと好きで画集を集めていました。どの言葉も素敵なのですが、日々の生活の中で何かに迷ってしまった時によく思い浮かべる言葉です。

◇ たんぼ学級 担任 植原 恵子 先生

「笑うこと 笑顔」

自分が笑っていられることが、一番幸せだと思うのですが、人の笑顔を見るのも好きです。気持ちがなんだかほんわかします。

◇ なかよし学級 担任 依田 史 先生

「笑顔」

好きな言葉であり、常に心掛けている行動です。相手への接し方はもちろんのこと、うれしさを心から表現すること、何かに取り組むときに、大変でも笑って楽しんでしようすること、気持ちの持ち方ひとつで、その時間が良い方に向くことはたくさんあると信じています。自分なりに苦勞も悩みもありますが、それでも笑うことは、エネルギーになっています。